

# 金属加工の摩擦抑制剤

## 精工産業が販売拡充



溶接材料や非鉄金属 素材などを扱う精工産

業（本社・東京都中央区日本橋久松町、社長・小菅治男氏）は金属加工時の摩擦抑制剤「レッドゾーン」の

販売を1年が経過し、市場への認知度が高まる中、「原液だけでなく、より手軽に使えるスプレータイプを求めた」（岩本文夫新規事業室新規グループ主事）

ため、今年6月からスプレータイプ（420ミリ）をラインアップに追加した。

精工産業は、溶材や非鉄素材販売で培った販売ネットワークを活用してレッドゾーンの

販売を進める考え。原岩本主事は「代理店と液タイプではすでに自らが商品の周知を進めることが使命。併せて、ユーザーとともにレッドゾーンの用途開発をしていきたい」とした。

研磨製品の開発を手掛ける研削研磨が発表し

50〜2000%延長することができる。

「レッドゾーン」は、

研削研磨が昨年6月に液体タイプ2種（4ミリの油性加工油として使用する。金属分子に吸着し、運動エネルギーを与えることで数十ナノ潤滑化学被膜（チノフィルム）を形成し、金属に潤滑性を付加することが可能。レッドゾーンを塗布することで工具や治具の耐摩耗性が高まり、寿命を1

